

## 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

市では、今年19日の敬老の日に合わせて、99歳以上の高齢者の皆さまのご長寿をお祝いし、褒状をお贈りいたしましたところでございます。

今年度褒状を贈らせていただきました対象者は108名でございます。

私はですね、今年はそのお祝いいただいた方の中で、特に現役で活動されておられる芸術家でいらっしゃる3人のご自宅を訪問させていただき、お祝いをさせていただいたところでございます。

洋画家の先生、そして書道家の先生、そして茶道家の先生ということでございますけれども、創作活動されておられる方は、いくつになってもみずみずしい感性をお持ちで、私自身を含めまして、改めて大変刺激を受けたところでございました。

さて、新型コロナワクチン接種についてでございますが、新型コロナウイルスのオミクロン株に対応したワクチン接種につきまして、2回目接種を完了した12歳以上で、最終の接種から5カ月以上を経過した方を接種対象とする方針が国より示されております。

これに基づき、市では9月27日、昨日でございますが、接種を開始いたしますとともに、接種券の発送並びに接種を順次進めて

まいります。

次に、5歳から11歳の小児への3回目の追加接種についてでございます。

対象は、2回目接種から5カ月以上経過をした5歳から11歳の方で、令和4年5月までに初回接種を終了した方に9月22日に接種券を発送いたしました。

今後も順次、接種券を発送してまいります。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、食べて学ぶSDGsについてでございます。

本事業は、SDGsをテーマとした学校給食の提供と関連する授業・出張講話により、学校に通う児童生徒が学校給食等を通してSDGsの考え方にふれることでその重要性への理解を深めるとともに、市民の皆さまや市職員に対して意識啓発の促進を図っていくものでございます。

学校給食におきましては、食を通して学びを深める取り組みとして、令和4年10月中にSDGsをテーマとした学校給食を、取手市立小中学校20校で提供いたします。

SDGsのゴールの一つであります「12 つくる責任 つかう責任」の達成のために、市が提供いたします学校給食は、国が毎年10月として定める食品ロス削減月間及びリデュース・リユース・リサイクルの3R推進月間にあたります令和4年10月から、人参・大根・蓮根の皮を剥かずに提供する取り組みを始めるもの

です。

取手市立永山小学校では、令和4年10月12日 水曜日、SDGsをテーマとした給食の提供に合わせ、関連した授業を行います。

授業では、5年生を対象とした総合的な学習の時間において「SDGs」の学習の一環として実施をいたします。市環境対策課の職員を講師として、食品ロス、取手市のリデュース・リユース・リサイクル・リフューズの4R推進や生ゴミの堆肥化の取り組みなどの講話を行う予定です。

次に、「食育の日」にあたります10月19日には、事業趣旨に賛同して頂きました団体におきまして、市民の皆さまや市職員に向けてSDGsをテーマとした学校給食をもとにした料理が提供されます。

市民の皆さま向けには、NPO法人らしん盤運営の「カフェそよかぜ」、取手市障害者福祉センターふじしろの運営いたします「カフェウェルカム」で提供いたします。この機会に「食べてSDGs」に取り組んでみてはみてはいかがでしょうか。

次に、給食と図書のコラボレーションについてです。

本事業は、各学校に勤務する学校司書が選定した食育につながる図書に登場いたします料理を学校給食で再現し提供することで、各校での食育の推進を図るとともに、コロナ禍により活動が制限される中、児童生徒が図書への興味をもつことにつなげることを

目的に実施をいたします。

令和4年10月27日 木曜日から11月9日 水曜日にかけての「読書週間」に、取手市立小中学校20校で図書に登場いたします料理を給食で提供いたします。

各学校では、大型掲示装置や校内放送を通して本の紹介を行い、学校図書室の利用促進につなげてまいります。

次に、追悼企画「ありがとう 木内監督」クラウドファンディングの募集を10月4日から開始することについてです。

甲子園などで数々の感動を残され、高校野球の名将であり、取手市の名誉市民でいらっしゃった木内監督を懐かしむ声を、今でも数多く聞いております。

野球を愛し、また野球を通して全国の皆さまから愛された木内監督の人柄や生前のご活躍を、野球部OB等の皆さんによるトークショー、また常総学院高等学校による応援歌等の吹奏楽演奏により懐かしむイベントを、12月18日 日曜日に開催いたします。

今回の追悼企画では、木内監督のファンの皆さまが事業の応援という形でも取り組みに参加できるよう、クラウドファンディング型ふるさと納税の制度を活用し、広く寄付を募ってまいります。

木内監督を愛する皆さまにご協力をいただきながら、皆さまの思い出を温められるイベントとしてまいりたいと存じます。

次に、大空凧プロジェクトのワークショップ開催についてです。

今年1月、取手市高須地区でとれた稲藁からつくった藁紙、また高須でとれた植物からつくった染料、高須で過去に揚げた大凧の枠組み、これらを用いて12畳の大凧を高須の空に揚げました。その際は、ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響により、その時は限られた方々しか制作の過程に参加いただけなかったところですが、今年度は、前回復元ができませんでした6畳凧の制作と、沢山の方が凧揚げができるよう、300枚を目標に小凧の制作にも取り組んでまいります。

今後、ワークショップ、6畳凧に描く文字の募集、制作サポート、そして当日の凧揚げなど様々な形で多くの人に参加頂けるようなプログラムをご用意してまいります。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、今後のイベントをご紹介させていただきます。

はじめに、とりで利根川河川まつりの開催についてでございます。

令和4年10月2日 日曜日 午前9時より、取手緑地運動公園 園路広場を会場に、3年ぶりに開催いたします。

このイベントは、交流物産展や各種イベント、小堀(おおほり)の渡しの無料乗船などを実施し、子どもから高齢者、家族連れまで、秋の利根川の大自然を満喫できるイベントとなっております。

また、同時開催としまして、とりで利根川市民ウォークを取手市歩こう会の主催により、開催いたします。

秋の利根川の清々しい河川空間を満喫してみたいかがでしょうか。

次に、取手市福祉まつり～笑顔のひろば～の開催についてです。

3年ぶりとなります取手市福祉まつり～笑顔のひろば～を、令和4年10月22日 土曜日 午前10時より、取手市福祉交流センター、取手勤労青少年体育センター、市役所敷地内駐車場にて開催をいたします。

福祉交流センターでは、東京2020パラリンピック ゴールボール競技に出場されました山口凌河氏による特別講演会、取手市氷彫刻展オールスター関東大会などを行います。

取手勤労青少年体育センターでは、キャノン株式会社様によるデジタルラグビー体験などを行います。

市役所敷地内駐車場におきましては、野菜の即売、模擬店、スタンプラリーなど、各会場にて多くの催しを実施いたしますので、是非、ご来場いただきたいと思います。

以上で、私からの説明を終わります。